

Ⅱ 事業の概要

2011年度に行われた学校法人及び設置学校における事業の概要は、次のとおりです。

1 明治大学創立130周年記念事業

2011年1月17日に明治大学は、創立130周年を迎えました。

そこで、これまで広く本学が推進してきた教育・研究・社会貢献の中から、全学的な取組みを積極的に社会全体へ発信することで、本学が国際社会を牽引し、知識基盤社会へ大きく貢献する決意を明らかにするため、「世界へー『個』を強め、世界をつなぎ、未来へー」を記念事業のコンセプトとして、主に次の記念式典、講演会、シンポジウム等のイベントを実施したほか、各種書籍の発行、記念グッズの制作等、様々な事業を展開しました。

(1) 記念式典関係

創立130周年記念式典（記念パーティー）

2011年11月1日（火） 駿河台キャンパスアカデミーホール

(2) 主な展示・設置関係

ア 創立130周年記念展示

イ 明治大学阿久悠記念館開館

ウ 三木武夫展

エ 創立130周年記念創立者レリーフ設置

(3) 主なイベント

ア 神田・神保町中華街プロジェクト

イ 明大落語会

ウ 創立130周年記念第47回全国校友東京大会

(4) 主な講演会・シンポジウム

ア 正月の風物詩「箱根駅伝」の魅力に迫る

イ グローバル人材シンポジウム

ウ 三木武夫シンポジウム

エ 研究者シンポジウム

オ 未来を創る君たちへのメッセージ学生のうちにするべき50のことー

(5) 主な学生イベント

ア 学生対抗eプレゼン・コンテスト

イ 明治大学シェイクスピア・プロジェクト公演

ウ 学生英語スピーチコンテスト

(6) 創立130周年記念音楽祭

(7) 交流試合等スポーツ記念事業

(8) 創立130周年記念事業における大規模施設整備計画

ア 生田キャンパス第二校舎D館の竣工（2012年4月利用開始）

イ 黒川農場整備計画（2012年4月利用開始）

ウ 和泉図書館の新築工事（2012年5月利用開始）

エ 駿河台キャンパスC地区整備計画（2013年4月利用開始）

記念事業ロゴマーク



- オ 中野キャンパス整備計画（2013年4月利用開始）
- カ スポーツパーク（仮称）等整備計画（2014年度利用開始予定）

2 重点施策

(1) 学校法人明治大学長期ビジョン（将来像）の策定

学校法人の健全な運営や適正な事業の遂行を推進するとともに、その設置学校の建学の精神・教育理念に基づく教育研究活動を将来にわたり永続的に発展させるため、本法人と設置学校が一体となり、共通の現状認識に基づく一致した基本政策の策定及び推進が求められています。

このような状況認識の下、本法人及び設置学校における長期的なビジョン（目標・戦略課題）の策定等に関し、理事会からの諮問事項を検討する学校法人明治大学長期ビジョン策定委員会を設置し、同委員会において検討を重ねた結果、2011年に**長期ビジョン**を制定しました。

長期ビジョンは、将来にわたり、明治大学が「新しい知の創造」及び「時代の要請に応える人材の育成」の拠点であり続け、世界に大きく飛翔するため、現在に至るまでの明治大学の歩みを振り返るとともに、可能性を見極め、創立150周年を見据えて、当面する今後10年間の強化の方向性及び理念について定めたものです。

長期ビジョンの概要は以下のとおりです。

※詳細はhttp://www.meiji.ac.jp/chousaka/longterm_visions.html

ア 長期ビジョン（将来に向けた大きな方向性・到達すべき目標）

**世界へ—国際人の育成と交流のための拠点
世界で活躍する強く輝く「個」を育てる教育研究の実現**

イ 長期ビジョンの実現に向けたテーマ

- (ア) 「個」を強め、社会と世界をリードする人材育成の拠点
- (イ) 知の創造と開かれた学問の拠点
- (ウ) 世界を結ぶヒューマンネットワークの拠点
- (エ) 学術・文化を世界に発信する拠点
- (オ) 将来に向けた永続的な発展

なお、長期ビジョンを具体化し、着実に実現するための施策として、教育、研究、社会連携・社会貢献、国際連携、施設設備整備計画、財務戦略及び組織・運営体制の項目を設定し、今後、これらの施策ごとに対応する基本的な方針、計画等の重要事項について検討を進めていく予定です。

先行きが不透明な時代において、明治大学の10年後は、光り輝く明るい未来になっているよう、この長期ビジョンの実現に向けて邁進していきます。

(2) ICT（情報通信技術）による次世代教育環境の整備

本学においては、ユビキタス教育に関し、2006年度からコンテンツ制作を開始し、2007年度後期から、司書・司書教諭課程の授業をeラーニング（メディア授業）として提供し、運用を開始しました。2009年度には、ユビキタス教育推進事務室を新設するとともに、夏期集中型の図書館司書資格取得のための司書講習に対してもメディア授業を導入し、社会人に対して大きく門戸を開くことになりました。また、2010年度には、アップル社が提供し

ている「iTunes U」に日本の他の3大学とともにアジアで初めて参加し、講義の動画等の無料配信を行っています。そして、2011年度には、学生主導型コンテンツに関する取組みにも力を入れ、本学創立130周年記念事業の企画として、日本で初めてとなるインターネットによるプレゼンテーションコンテスト「**eプレゼン・コンテスト**」を開催しました。eプレゼンテーションとは、PowerPoint, 写真, イメージ, 動画等の様々な資料を取り込んで、その内容をプレゼンテーション形式で説明するコンテンツのことで、同コンテストは、2012年度も開催を予定しております。

※詳細は<http://meijicommons.muc.meiji.jp/epresen/>

さらに、2012年3月には教育機関向けモバイルポータルシステム**Blackboard Mobile Central「iMeiji」**を導入しました。このシステムは、全世界で200を超える大学等で導入されており、**日本では本学が初めて**となります。キャンパスマップ, スポーツイベントスケジュール等を見ることができるほか、iTunes Uもここから起動が可能で本学のあらゆる情報を取得することができます。

(3) 国家試験対策の指導強化・充実

本学の国家試験指導センター（法制研究所・経理研究所・行政研究所）は、法律専門職（法曹）養成に係る学習指導、公認会計士試験及び公務員試験に係る受験指導等の教育活動を展開することにより、資格取得及び職業能力の向上を志す本学学生及び卒業生を支援し、社会に有用な人材を育成しています。

2011年度は新たに理工学部・農学部の学生を対象として生田キャンパスにおいて公務員講座を開講しました。

(4) 戦略的広報の展開

広報を戦略的に企画・推進する広報戦略本部において策定した基本方針に基づき、教育研究の諸活動を戦略的に広く学外に発信する環境整備を推進してきました。

<広報戦略本部 広報基本方針>

- 1 高い次元の広報の展開
- 2 世界を視野に入れた広報展開
- 3 学内の情報・要望・提言を汲み上げ、迅速な対応と本学の高度な教育・研究及び人的資源の発信
- 4 人的ネットワークの構築を強化し、その推進によって構成員のアイデンティティを高めること

ア 広報戦略本部の機能充実

広報戦略本部の任務を推進するために設置されている広報センターにおける機能の拡充・強化を図るため、研究・知財戦略機構、国際連携機構及び社会連携機構からも広報センター員を選出することにしました。

イ ホームページの全面リニューアル等

創立130周年を機に11月1日の記念式典に合わせて、本学ホームページ(<http://www.meiji.ac.jp/>)を大幅にリニューアルしました。

今回のリニューアルは、創立130周年記念事業のコンセプト「世界へ

『個』を強め、世界をつなぎ、未来へ」に基づき、時代を見据えて社会からの要請に応えるため、世界的な教育・研究拠点を目指して世界中の多様な『個』を受け入れる新しい「知の共同体」として歩み始めた本学の情報を、戦略的かつ効果的に発信するよう、計画・実施したものです。

併せて、既存コンテンツの整理・拡充やデザインの刷新を行うとともに、本学の活動及び人が見えるようなコンテンツを強化しており、その一端は明治大学の「今」を編集し、「旬」な情報を伝える「**明治 ing (めいじんぐ) !**」などで、容易に見ることができます。

構造的にもコンテンツに対するアクセス容易性の向上を図り、運用面においても継続的な情報発信のためのコンテンツ管理システム基盤を強化・確立しました。

創立から130年を経て、世界に向けて、更なる発展を期する本学の教育・研究・社会貢献の諸活動をこれからもホームページを通じて活発に発信していきます。

また、2011年4月から広報誌「明治」及び明治大学広報についても「**親しみやすさ**」・「**見やすさ**」・「**分かりやすさ**」を追求した紙面にリニューアルをしました。

ウ 「MEDIA GUIDE」(メディアガイド)の発行

マスコミ・報道関係者と本学との接点となるために「**MEDIA GUIDE**」(メディアガイド)を発行し、マスコミ・報道関係者に配布しました。

第1号では、東日本大震災から1年が経過するに当たり、震災からの復興をテーマにして本学教員27名の研究活動内容を紹介しています。

今後も本学の教員を身近に感じてもらい、その研究内容にも目を向けてもらうため、メディアガイドの発行を続けていきます。

(5) ヒューマンネットワークの構築～本学出身首長との意見交換会の開催～

この意見交換会は、2011年11月16日、社会的リーダーとして活躍する本学出身首長と大学との交流を深め、本学のヒューマンネットワークの強化・拡張を図るとともに、本学出身政治家の増加策について現役の首長と意見交換を行うことを目的として開催しました。当日は市長10名、区長2名及び町長9名合計21名が参加し、本学からは理事長等役員及び大学役職者、村山富市顧問(元内閣総理大臣)、本学出身の国会議員等が参加しました。

(6) 募金活動の推進

2011年度に明治大学が受けた寄付金の総額は、約7億8,000万円(前年度約5億7,000円)でした。

ア 未来サポーター募金

未来サポーター募金は、寄付者の意思が反映しやすい用途選択型募金として2010年に創設し、奨学サポート、国際化サポート、研究サポート、スポーツサポート及びキャンパス整備サポートの5つの資金から構成されています。2011年度は、2,705件、4億2,140万282円の寄付をいただき、寄付者に対しては、寄付金額に応じた**顕彰制度**を実施しました。

また、明治大学広報募金特集号を年2回作成し、全国の校友へ向けて送付しました。

さらに、所有する書籍類（書籍，CD，DVD等）を提供し、その査定額を未来サポーター募金として活用する**本棚募金**や**継続寄付**の受付も開始しました。

イ その他の主な募金関係

(ア) 明治大学被災学生支援義援金の募集

毎年度実施している教育振興協力資金を**明治大学被災学生支援義援金**として募集しました。総額1億5,614万8,638円の支援をいただき、被災した学生の奨学金等に充当しました。

(イ) 東北関東大震災被災者救援義援金の募集

総額458万1,453円を日本赤十字社に送金しました。

(ウ) 教育振興協力資金寄付者銘板の作成

2010年3月31日までに5万円以上の寄付をしていただいた方を対象とした**寄付者銘板**をアカデミーコモン1階に設置しました。

(エ) 明治大学募金の手引きの作成・配布

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/bokin/index.html>

(7) 学校法人の管理・運営

ア 学校法人明治大学寄附行為の改正

2012年度から本大学院に**国際日本学研究科**を設置することに伴い、寄附行為の当該条項を改正しました。

イ 事務組織の改編

2013年度から**中野キャンパス**を開設することに伴い、中野キャンパス開設準備部（改編後に中野キャンパス開設準備室）を設置しました。

また、2014年度から**南多摩キャンパス**（旧多摩テック跡地）を開設することに伴い、南多摩キャンパス開設準備室を設置しました。

3 東日本大震災への対応・復興支援

東日本大震災により被災された皆様に対し、心からお見舞いを申し上げますとともに、被災地の1日も早い復興を心から祈念いたします。

本学は、2011年度も様々な対応措置を講じるとともに、上述した義援金の募集のほか、被災地の復興に向けた支援に取り組みました。主な事項は次のとおりになります。

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/koho/disaster/info/>

(1) 大学内施設の安全性確認及び大地震発生時の避難マニュアル（学生・教員・職員用）の公開

(2) 東日本大震災で被災した2012年度入学志願者に対する入学検定料（受験料）の免除並びに被災学生の授業料減免及び修学助成金の給付

(3) 震災復興支援センターの活動

学長の下に**震災復興支援センター**（以下「センター」という。）を設置しました。センターは、被災地の教育機関，地方公共団体，産業界，地域住民等からの幅広い要請に応え、被災地域の復興を支援し、本学における社会的責務を果たすと同時に、震災復興支援にかかわる人材の育成及び教育研究の推進を図ることを目的としており、主に次のような活動を行ってきました。

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/gakucho/reconstruction/index.html>

ア 浦安ボランティア活動拠点の開設

千葉県浦安市に開設し、学生ボランティアによる液状化被害を受けた地元中学校の復旧活動、セルフケア講習会の実施、被災した東北各地の物産品の販売（東北被災地サポートマルシェ）等を行いました。

イ 学部間共通総合講座「東日本大震災に伴うボランティア実習」の開講

上記の浦安ボランティア活動拠点を中心とし、この講座によりボランティア活動に参加した学生への単位を認定しました。

ウ つむぎルームの開設

(株)NTTPCコミュニケーションズの協力により、岩手県大船渡市に開設し、被災した小学生・中学生・高校生に対する学習支援を行いました。

エ 学生ボランティア活動に伴う交通費・宿泊費の一部助成

オ 被災した次の自治体との震災復興に関する協定書の締結

(ア) 福島県新地町（2012年1月26日締結）

(イ) 岩手県大船渡市（2012年4月23日締結）

(ウ) 宮城県気仙沼市（2012年度締結予定）

本学は、2012年度以降も引き続き本学の有する人材、知的資産等を活用して震災復興及び地域再生に向けた支援・連携を進めていきます。

4 学部・大学院の整備等

(1) 学部・大学院教育の進展整備

学部・大学院の設置以降、完成年度まで引き続き教育環境の整備を行うこととしていきます。

ア 国際日本学部国際日本学科（完成年度：2011年度）

イ 大学院理工学研究科新領域創造専攻（完成年度：2012年度）

ウ 大学院情報コミュニケーション研究科情報コミュニケーション学専攻（完成年度：2012年度）

エ 大学院教養デザイン研究科教養デザイン専攻（完成年度：2012年度）

オ 大学院文学研究科文芸メディア専攻（完成年度：2012年度）

カ 大学院先端数理科学研究科現象数理学専攻（完成年度：2013年度）

(2) 大学院研究科の開設準備

2012年度からの開設に向けて、必要な準備を行いました。

大学院国際日本学研究科国際日本学専攻（完成年度：2013年度）

(3) 学部の開設準備

開設に向けて必要な準備を行っています。

ア 総合数理学部（仮称）（2013年4月開設予定）

イ スポーツ科学部（仮称）（2014年4月開設予定）

5 教育研究環境の整備

(1) 各キャンパス等施設設備整備計画

学校法人の将来構想計画の一環として、明治大学全体の地区計画・教育研究施設設備整備計画を策定するとともに、その推進を図るため、理事会の下に、明治大学教育研究施設計画推進委員会を設置しています。

また、全学的な施設設備整備計画を策定する上で、教学の構想を的確に反映させる必要があることから、案件ごとに、上述の推進委員会及び学長の下に設

置している明治大学将来構想委員会の構成員からなる法人・教学合同の推進協議会を設置し、相互の意思の疎通を図り、施設設備整備計画の成案を得ることとしています。

今後は、本学の発展を持続可能なものにするため、教学が策定した「グランドデザイン2020※」等との整合性を図りながら施設設備整備計画を策定し、本学の教育研究に寄与できる環境を整備していきます。

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/gakucho/granddesign/index.html>

(2) 駿河台キャンパス

現在、駿河台キャンパスにおいては、二つの推進協議会を設置して、施設設備整備計画を推進しています。

駿河台C地区整備計画は、「**世界に発信する最先端の研究拠点と陶冶の場**」をコンセプトとして、2011年4月から新教育・研究棟の建設を開始しています。人文・社会系の大学院生の活動を1か所に集約し、他大学、自治体、企業等と連携しつつ多様な分野で国際的な研究を推進し、世界的水準の研究拠点を形成していきます。2013年4月の利用開始を予定しており、完成すると地下1階・地上17階の建物となります。

猿楽町地区整備計画は、日本の伝統文化・現代文化、その時代時代の学生・若者文化の発信拠点であるとともに、地域に開かれた施設の建設を基本構想としています。千代田区とも連携し、駿河台キャンパス全体の展望の中で猿楽町地区の将来像を策定していきます。

(3) 和泉キャンパス

2011年1月から建設が開始された**和泉キャンパス図書館**は、2012年5月1日に開館しました。

図書館は、「**人と人・人と情報を結ぶ架け橋(リエゾン)**」を基本コンセプトとして建設し、地上4階建ての開放的かつ明るい空間に約60万冊の蔵書と充実の機能を備え、「**知の宝庫**」として和泉キャンパスのシンボリックな建物になっています。

また、和泉キャンパスでは教育環境の悪化・学生サービスの低下を是正するため、新たな教育棟の建設に向けた検討も進めています。



和泉キャンパス図書館

(4) 生田キャンパス



第二校舎D館

2010年8月から建設工事を開始した**第二校舎D館**が2011年12月に竣工しました。免震構造7階建てのD館は、理工学部応用化学科、機械工学科及び機械情報工学科が利用する教育・研究棟として、2012年4月から利用を開始しています。

2012年3月に竣工した**地域産学連携研究センター**は、本学の知的資源を有効活用することにより、神奈川県域その他における新技



地域産学連携研究センター

術・新事業の創出のほか、共同研究の実施、経営セミナー等の開催を含め当該地域の中小企業者、市民等との連携・交流の促進を図ることを目的としています。同センターは、経済産業省の地域企業立地促進等共用施設整備費補助事業として採択されています。

また、農学部の第一校舎6号館（仮称）についても教室及び研究スペースの確保のため、建設計画を推進しています。

(5) 中野キャンパス

中野キャンパスは、**明治大学第4のキャンパス**として、2011年6月から工事を開始し、2013年1月竣工、2013年4月からの利用開始を予定しています。（地下1階・地上14階の高層棟及び地上5階の低層棟から構成）

「**国際化・先端研究・社会連携の拠点キャンパス**」として誕生する中野キャンパスにおいて、**国際日本学部及び総合数理学部（仮称）**のほか、複数の大学院研究科及び研究機関が活動を展開して、国際化をリードし、本学の先端研究を集約の上、その成果を世界に発信するとともに、社会との連携を推進していきます。

また、今後、さらなる教育研究活動の充実に向けて、中野キャンパス（Ⅱ期）整備計画についても早急に検討を進めていきます。

(6) 黒川農場整備計画

2011年度に竣工し、2012年4月から利用を開始した**黒川農場**は、環境・自然・地域との共生をコンセプトとして、**黒川地区（神奈川県川崎市麻生区）**の自然を最大限に生かした設計により、先端技術を駆使した生産効率の高い栽培システムと有機農法をはじめとする環境保全型システムを併せ持っています。従来の農場とは異なり、年間を通して継続的な実習も可能となることから、今後、農場教育及び社会人教育を推進し、地域と大学の連携による多目的な都市型農場を目指していきます。

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/agri/kurokawa/index.html>



温室・実習圃場



アカデミー棟



自然生態園

(7) スポーツパーク（仮称）等整備計画

本学体育会所属運動部を強化し、学生競技スポーツの振興を図るための練習施設・学習環境・住環境の整備を図ることなどを目的として、旧多摩テック跡地の**南多摩キャンパス（東京都日野市）**に**スポーツパーク（仮称）**の整備計画を進めています。2014年2月の竣工を目指して今後、具体的な施設の整備を図っていきます。

また、同じく南多摩キャンパス内に**スポーツ科学部（仮称）**（2014年4月

開設予定)も新設されることになっており、文部科学省に対する設置認可申請に向けた準備を進めていきます。

6 教育・研究活動

(1) 教員組織の整備

特任教員及び客員教員の制度が定着してきた結果、特色ある教育及び特別なプログラムを展開するための教員の任用が可能となり、教育・研究改革の効果も上がってきました。また、学部・大学院以外の機関においても教員任用が可能となったことから、研究・知財戦略機構、国際連携機構等において様々な事業を展開しています。

2010年度に発足した助教制度については、若手教員のキャリア形成に資するため、2011年度から任用を開始しました。

(2) 教学運営体制の整備

2006年度から実施している副学長制度は、2011年度には総合政策担当、教務担当、学務担当、研究担当、社会連携担当、国際交流担当、和泉キャンパス担当及びスポーツ振興担当の8名の副学長で学長を補佐し、業務を遂行してきました。

また、防災・危機管理体制を確立するため、緊急時には、学長と総合政策担当、教務担当、学務担当の各副学長及び学長室専門員長によって構成される緊急対策本部を設置して対応しました。今後とも大規模な地震、風水害(台風)、放射能被害、停電、インフルエンザ等の感染症の流行等、緊急対応が必要な事態が発生した場合には、学生・教職員等の避難誘導等が確実・安全に実行できるシステムの整備を早急に進めていきます。

(3) 教育関連活動

ア 教育の質保証

各学部及び各研究科において**アドミッションポリシー(入学者受入方針)**、**カリキュラムポリシー(教育課程の編成方針)**及び**ディプロマポリシー(学位授与方針)**を確立し、当該ポリシーに基づく教育の質保証を推進してきました。

また、学部における収容定員の見直し(増減)を進め、教育の質を向上できる適正規模への移行を目指すとともに、留学生募集人員及び編入学募集人員の定員化を進めてきました。

イ 休学制度の見直し

2011年度から在生学生も含めて休学制度を変更しました。

※詳細は<http://www.meiji.ac.jp/koho/hus/html/1301636050.pdf>

(ア) 休学期間延長の制度化

年度単位で最長2年までの休学期間を、特別な事情がある場合には所定の手続を経ることで学部学生ではさらに2年の休学期間の延長を認めることとしました。

(イ) 通算休学期間の年限

在学中に休学できる期間は、学部学生で4年としました。

(ウ) 休学受付期間の変更

(エ) 休学時の学費の変更

休学時学費の負担軽減を目的として、休学在籍料(半期休学ごとに8万円)

のみを納入することとしました。

(4) 研究関連活動

本学における研究活動は、学長を機構長とする研究・知財戦略機構（以下「機構」という。）において統括しています。

機構は、世界水準の研究を推進するため、重点領域を定めて研究拠点の育成を図り、研究の国際化を推進するとともに、その成果を広く社会に還元することを目的として設置しています。

機構の組織は、研究政策の企画・立案から実行を担う研究企画推進本部及び産官学連携活動を推進する研究活用知財本部を両翼とし、さらに、附属研究機関・附属研究施設を設置しており、当該機関等において研究活動を推進しています。

2011年度における各研究機関等の主な研究活動は次のとおりです。

ア 研究活用知財本部

2011年度に本部名称を社会連携促進知財本部から**研究活用知財本部**に変更し、研究成果の活用及び知財の創出・管理・活用という当本部の役割を一層明確にし、その遂行に向けて実効性の高い体制整備を行いました。

イ 先端数理科学インスティテュート（MIMS）

機構附属研究機関（特別推進研究インスティテュート）として設置されている**MIMS**は、グローバルCOEプログラム「現象数学の形成と発展」を主とした研究活動を行っています。

※詳細は<http://www.mims.meiji.ac.jp/index.html>

(ア) アクチュアリー数理コンソーシアムの設立

明治大学（MIMS）、慶應義塾大学（統合数理科学研究センター）及び日本大学（大学院総合基礎科学研究科アクチュアリーコース）により、日本におけるアクチュアリー科学の確立を目指す標記コンソーシアムを設立しました。アクチュアリーとは、年金及び保険の設計、リスク管理等多岐にわたって活躍する数理のプロフェッショナルのことです。

(イ) オックスフォード大学数理生物学センター（CMB）と協定締結

現象数学の一つの柱となる数理生物学及び数理生命科学分野のグローバルな活動を展開するため、St. John's College, Oxfordにおいて、標記センターと協定を締結しました。

ウ 国際総合研究所

2011年4月に国際的な諸問題を研究課題として、その解決策を探求及び立案することにより、国際社会に対して政策提言を図っていくため、**国際総合研究所**を機構附属研究機関（特別推進研究インスティテュート）として設置しました。開設記念シンポジウムも開催し、今後、社会科学分野における国際的な広がりを持つ課題について研究・提言活動を行う拠点を目指し、体制整備を進めていきます。※詳細は<http://www.meiji.ac.jp/miga/index.html>

ー明治大学国際総合研究所 開設記念シンポジウムーの開催

日時 2012年2月21日（火）12:45～17:45

会場 駿河台キャンパス リバティタワー リバティホール

主催 明治大学国際総合研究所

後援 日本経済新聞社

日本 CFO 協会

THE WALL STREET JOURNAL

エ バイオリソース研究国際インスティテュート (MUIIBR)

2011年6月に機構附属研究機関(特別推進研究インスティテュート)として**MUIIBR**を設置しました。MUIIBRは、バイオリソース研究クラスターが昇格したもので、医学研究・医療用高付加価値動物の開発・保存及び生物資源の創出・維持・活用を行っており、これまでもJST(独立行政法人科学技術振興機構)の大型研究にかかわる研究グループを担うなど着実な研究成果を挙げています。独創的な遺伝子改変ブタやクローンブタという独自の生物資源とともに、世界的な農工医連携拠点としての発展を目指して研究活動を推進していきます。

※詳細は<http://muiibr.com/>

オ 研究クラスター

研究クラスターは、特別推進研究インスティテュート等を目指し、今後の発展が期待されるものとして選定された重点領域プロジェクトを推進する期限付きの研究組織で、2011年7月に次の研究クラスターを設置しました。

- (ア) 知的財産法政策研究所
- (イ) 日本古代学研究所
- (ウ) 野生の科学研究所

※詳細は<http://sauvage.jp/>

カ 黒曜石研究センター

黒曜石研究センターは、長野県小県郡長和町にある日本で唯一の黒曜石と人類史に関する研究施設であり、2010年度から、機構の附属研究施設として位置付けられ、研究組織を一新して活動を開始しました。平成23年度文部科学省の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(2011年度～2015年度)にも採択され、今後は黒曜石を含む多様な資源に対する人類の働きかけのダイナミズムに関する研究を推進するとともに、同センターを黒曜石研究の国際ネットワーク拠点とするため、海外の関連機関との連携を進めていきます。

※詳細は<http://www.meiji.ac.jp/cols/index.html>

- (ア) 黒曜石研究センターとロシア科学アカデミー極東支部極東地質学研究所との間で共同研究に関する協定書(合意文書)を締結しました。
- (イ) 2011年11月4日～6日に、アメリカ、ロシア及び韓国からの研究者等を迎えて黒曜石研究センターを会場とした黒曜石に関する国際ワークショップ「黒曜石の産地推定をめぐる方法論上の問題と試料の標準化をめぐる」を開催しました。

キ 植物工場基盤技術研究センター

機構の附属研究施設として、生田キャンパスにおいて2011年4月に設置した**植物工場基盤技術研究センター**は、「農商工連携」の新しい食料生産方式として、安全で安心な食料を安定供給できる植物工場の発展・拡大を目指す経済産業省の「先進的植物工場施設整備事業」の補助金の交付を受けて建設され、研究活動を行っています。

※詳細は<http://www.meiji.ac.jp/plant/index.html#tab1>

(ア) 植物工場短期研修プログラムの実施

実践 植物工場基礎技術解説 植物工場運営に必要な知識と技術の習得
—食と農へのビジネス展開へ向けて—

実施期間 2011年9月20日～11月29日(毎週火曜日 全10回)

(イ) 公開シンポジウム「植物工場—都会でも新鮮で安心な野菜を作る—」の開催

日時 2011年12月2日(金) 13:30～16:30

会場 駿河台キャンパス リバティタワー リバティホール

ク 地域産学連携研究センター

機構の付属研究施設として、経済産業省の「地域企業立地促進等共用施設整備費補助金」の交付を受けて建設されている**地域産学連携研究センター**は、2012年3月に竣工し、同年4月からの運用を開始しました。

同センターには、インキュベーション室、展示ブース、多目的会議室等が設置されるとともに、汎用大型分析・加工装置を設置し、これらの利用開放等を通じて地域中小企業者、研究機関、川崎市など地方公共団体等と連携し、本学における産学連携活動の強化及び研究の活性化を図っていきます。

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/cii/index.html>

ケ 主な競争的研究資金等の獲得

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/research/promote/present.html>

(ア) 文部科学省「平成23年度科学研究費補助金」

本学の採択件数は、新規・継続分を合わせて260件(前年度230件)で、補助金交付総額は、**過去最高の約5億2,400万円**(前年度約4億8,400万円)となりました。(年度中の転入者を含み、転出者を除く)

(イ) 文部科学省平成23年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」

本学から次の3件が採択されました。この事業は、大学の経営戦略や研究戦略に基づいて、各大学が特色を生かした研究を実施するため、その研究基盤の形成を支援する事業です。

a 生命機能マテリアルによる次世代再生医療技術の構築および垂直統合型研究拠点形成(研究代表者:相澤 守 理工学部教授)

b ヒト-資源環境系の歴史的変遷に基づく先史時代人類誌の構築(研究代表者:小野 昭 研究・知財戦略機構特任教授)

c 情報財の多元的価値と、創作・利用主体の役割を考慮した知的財産法体系の再構築(研究代表者:中山信弘 研究・知財戦略機構特任教授)

(ウ) 平成23年度千代田学

本学から「都会型ソーシャルネット活用事業を通してのワークライフバランス問題の解決」(研究代表者:水野勝之 商学部教授)1件が採択されました。「千代田学」とは、千代田区内にある大学、短期大学、大学院等の研究機関及び専修学校各種学校が自ら行う千代田区に関する様々な事象を一つの学問として学ぶ調査・研究事業のことで、これらの事業に対して、千代田区がその経費の一部を委託又は補助により負担するものです。

(5) 出版会の設置

本学の学術研究成果を出版物として広く社会に公開することにより、本学の教

育研究活動の活性化を図るとともに、学術・文化の振興及び社会の発展に寄与することを目的として2011年4月に**明治大学出版会**を設置しました。出版会は、本学の知の蓄積から、優れて特色ある研究成果を書籍として刊行していく予定であり、「**明治大学リパティブックス**」として2012年3月に新刊3冊を刊行しました。

(6) 大学史資料センターの活動

大学史資料センターは、本学の歴史（校史）に関する調査、研究並びに校史に係る資料の収集、保存及び公開を行っており、2011年度においては、創立130周年を記念する複数の書籍類の刊行や記念展示等により、本学の歴史や創立者の理念に関する情報を発信して、本学のブランディングの向上に貢献しました。

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/press/index.html>

(7) 学校法人等との連携・協力

ア 学校法人国際大学との法人間連携・協力に関する協定書の締結

2011年4月1日に本法人と学校法人国際大学との間で法人間連携・協力に関する協定書を締結しました。

本学と国際大学（新潟県南魚沼市）とは、2011年3月18日に大学間交流に関する包括協定書のほか、明治大学専門職大学院ガバナンス研究科と国際大学大学院国際関係学研究科との間による学生交流に関する覚書を締結しています。

イ 日本学園高等学校との高大連携事業に関する協定の締結

2012年3月16日に本学と日本学園高等学校（東京都世田谷区）との間で高大連携事業に関する協定を締結しました。日本学園高等学校は、京王線明大前駅から徒歩5分の距離にあり、本学和泉キャンパスと近接していることから、この利点を生かして相互の理解を深め、両校による地域貢献を目的としています。

7 認証評価制度への対応等

本学は、学校教育法に定める認証評価について、財団法人大学基準協会に大学評価の申請を行い、その結果、2008年3月に「大学基準に適合している」と認定されました。有効期間は、2014年度（2015年3月）までとなっています。

2010年度自己点検・評価報告書については、自己点検・評価全学委員会委員長である学長が2012年1月16日に「2010年度自己点検・評価報告書」を評価委員会委員長の理事長に提出しました。

同報告書の提出を受けて、同年2月1日に評価委員会を開催し、自己点検・評価が適切に行われているか点検するとともに、報告書に記載された改善計画を基に、今後本学が重点的に改善すべき点等を議論し、国際化のさらなる展開等に関する提言を行いました。その結果は、「評価委員会による評価結果」としてとりまとめ、報告書と同時にホームページに公開します。

なお、本学では1997年度から毎年度自己点検・評価を実施しています。1997年度から2004年度までの報告書は、図書館において閲覧可能です。2005年度以降については、本学のホームページで公開しています。

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/index.html>

8 国際化の推進

(1) 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業（グローバル30）

本学は、目指す方向の基本方針として「世界に開かれた大学」を掲げています。

大学には、社会や経済に貢献し、産官学のあらゆる形態で連携し、国際的に活躍できる人材、専門的知識を有する即戦力となる人材、幅広い教養と自立性のある人材の育成が求められています。本学もこうした社会からの要請に応えるため、文部科学省の**国際化拠点整備事業（2011年度から大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業）（グローバル30）**の全国13大学採択校の一つになっています。グローバル30では、留学生の受入れ及び送出しの強化、外国人教員比率の引上げ、英語コースの拡充等に取り組み、2012年3月に公表された事業開始2年経過後の中間評価では**総括評価「A」**（これまでの取組状況を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。）と判定されました。

(2) 国際連携機構

学長を機構長として、本学における国際化政策を一元的に推進していく機関が国際連携機構（以下「機構」という。）です。

機構は、本学における国際的な教育交流及び学術・研究交流を推進し、本学の教育・研究分野の高度化を図るとともに、教育・研究を通じ広く国際貢献を果たすことを目的として設置されています。

機構は、国際戦略策定のための調査・企画及び外国の高等教育機関等との連携を行い、本学の国際的認知度を向上させることを目的とする国際連携本部、国際的な教育、学生の留学及び外国人留学生の受入れを推進する国際教育センター並びに外国人留学生の日本語教育の実施及び研究を推進する日本語教育センターから構成されています。

国際連携・留学等にかかわる主なイベント等は次のとおりです。

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/cip/info/event2011.html>

ア 明治大学ジャーマンデーの開催（2011年6月4日）

日独交流150周年を記念して、駐日ドイツ連邦共和国大使による講演、ドイツに留学した明治大学研究者による講演等が行われました。

イ 「日本文化体験」の開催

国際教育センターにおいて留学生を対象として「茶道体験」、「座禅会」、「能楽観賞」等を開催しました。

ウ ケンブリッジ大学ペンブルック・プレイヤーズ・ジャパントアールの開催（2011年9月26日）

英国ケンブリッジ大学の学生団体「ペンブルック・プレイヤーズ」による講演が駿河台キャンパスリバティタワーリバティホールにおいて行われました。

（演目：シェイクスピア作“Twelfth Night”（邦題：『十二夜』）

エ 第16回留学生日本語スピーチコンテストの開催（2011年11月19日）

本学の学生によるコーディネーターが実行委員会を組織して運営等の準備を行い、アメリカ、中国、ルーマニア等から留学生が参加してコンテストを開催しました。

オ グローバル30国際教育研究所開設記念国際シンポジウムの開催

国際教育交流にかかわる研究を遂行し、国際社会で活躍しうる人材の育成に

貢献するために設置した国際教育研究所の開設記念として、2011年度に2回、シンポジウムを開催しました。2012年度（5月）にも開催を予定しています。

「留学交流の新たな潮流と教育の質保証」（2012年2月10日）

「世界大学ランキングと大学の『世界水準』」（2012年3月9日）

カ 国際シンポジウム「災害と法：複合災害から私たちは何を学ぶことができるか？」の開催（2012年3月7日）

国際連携本部主催で日米欧及び東南アジアの研究者による講演・意見交換が行われました。

(3) 協定校・協定機関の拡充

海外の大学等との協力協定については、2011年度も37校・機関との間で新たな協定を締結し、2011年度までの協定校・協定機関数は、学部間等協定51校・機関を含め、全体で200校・機関となりました。

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/cip/univlist/index.html>

(4) 英語コースの拡充

本学におけるグローバル30の国際化拠点構想（グローバルコモン・プログラム）では、先端数理科学研究科（博士後期課程）、ガバナンス研究科、経営学研究科ダブルディグリープログラム、理工学研究科建築学専攻国際プロフェッショナルコース（2013年度新設予定）及び国際日本学部国際日本学科（2011年度新設）の5つの英語コースを公式に本学の英語コースとしています。

今後、当該研究科・学部では、公募の外国人特任教員を含む英語による専門科目のカリキュラムについて、質の向上、拡充等の体制整備を推進していきます。

(5) クールジャパン サマープログラム等の実施

外国人学生等を対象とし、夏期・冬期の長期休暇を利用した次の短期プログラムを2011年度に実施しました。2012年度も実施を予定しています。

ア Cool Japan Summer Program（クールジャパン サマープログラム）

マンガ、アニメ、オタク文化、Jポップ、映画等日本のポップカルチャーとともに、日本の伝統文化の魅力を学び、これらの文化コンテンツとしての価値を分析する英語によるプログラムです。教室での講義のほか、見学、実習等体験型のプログラムもあります。

イ 日本語短期研修プログラム

2週間の日本語短期研修プログラムで、日本語の授業のほか、見学・体験、小旅行等生きた日本語と日本に触れることができるプログラムです。

ウ 夏期短期社会科学プログラム

外国人の学生が日本の法律・政治・経済を日本語で入門的に学ぶことができるプログラムで、法律・政治・経済に関連する場所へのフィールドトリップも行います。

エ Law In Japan

英語で日本の法律と法制度について学ぶプログラムで、授業で学んだ知識をより具体的かつ豊かにするため、最高裁判所等へのフィールドトリップも行います。

(6) 海外拠点

2007年度に開設したマレーシア・サテライト・オフィス(クアラルンプール市)に続き、中国上海連絡事務所及び大連連絡事務所を設置し、2011年7月23日には、中国北京市において「**明治大学北京事務所**」の開所式を執り行いました。

(7) 国際社会への貢献

本学は、「開かれた大学」として、様々なステークホルダーと連携し、国際社会への貢献にも力を入れています。国際連合の主催する「**国連アカデミック・インパクト (UNAI)**」にも加盟し、第1回会合から参加をしています。

UNAIは、国連と高等教育機関を結びつけるグローバルな取組みであり、世界90か国700を超える大学・機関が参加して「人権・識字能力、持続可能性、紛争解決」の分野における普遍的な10原則を定め、参加大学は、毎年少なくとも一つの原則を積極的にサポートする活動が求められます。

これまでも本学は、平和教育登戸研究所資料館の開設、国際人権NGOヒューマン・ライツ・ウォッチと連携した人権問題への取組み等UNAIの原則に合致した諸活動を行っており、2011年度についても本学において主に次の会議等が開催されました。

ア アフリカ開発と人権シンポジウム(2011年7月4日)

イ 北朝鮮人権国際会議(2011年9月7日)

(8) 地域研究

現在、英国研究、カナダ研究及びフランス研究の各グループが研究活動を行っており、2011年度については英国研究イベントとしてRichard Calland氏(南アフリカ共和国ケープタウン大学)を講師として迎え、「グローバル市民社会」にかかわる講演会を開催しました。(2012年1月18日・19日)

(9) 留学生の送出し強化

留学生の送出し強化を目的として、学生の授業料等の負担を軽減するため、明治大学学生外国留学奨励助成金規程を制定しました。また、多様な留学形態に対応するために、留学について、外国の高等教育機関等との協定に基づく留学を「協定留学」及び教授会等の議を経て学長が認めた留学を「認定留学」と定義し、留学期間、留学対象機関、課程等を明示して学生が外国留学に行きやすい環境を整備しました。

9 社会連携

(1) 社会連携機構

本学における教育研究活動を通じた地域連携活動の支援、生涯学習機会の提供等を推進することによって、地域社会の活性化及び社会の発展に寄与することを目的として設置されている機関が社会連携機構(以下「機構」という。)です。

機構は、生涯教育の充実を図るリバティアカデミー及び地域連携を推進する地域連携推進センターから構成されています。

※詳細は<http://www.meiji.ac.jp/social/index.html>

ア リバティアカデミーの展開

リバティアカデミーは、公開講座を中心とした生涯教育の役割を担っています。リバティアカデミーは、本学教員をコーディネーターに「本学の教育・研究成果」を継続的・体系的な公開教育プログラムとして産業社会や地域社会に

提供し、大学の保有する様々な知的資産とその環境を広く市民に開放することを通して「開かれた大学」としての姿を追求してきました。1999年の設立当初は36講座及び受講者数2,081名でスタートしましたが、2011年には、開講講座数392講座・受講者数16,889人（TOEIC等学生対象団体試験受講者数を含めると26,643人）になっています。

※詳細は<https://academy.meiji.jp/>

また、リバティアカデミーでは、本学の紫紺館1階に入居している国際機関太平洋諸島センター（PIC）との文化・芸術・研究交流の一環として連携講座を開講しており、2011年度もオープン講座「太平洋の島々に生きる人々」等を実施しました。

イ 地域連携推進センターの展開

地域連携推進センターは、本学が国・地方公共団体、産業界、地域住民等からの幅広い要請に応え、地域社会と連携して地域人材の育成や地域課題の解決を図ることにより、本学における教育研究の発展と地域社会への貢献に寄与することを目的としています。

※詳細は<http://www.meiji.ac.jp/social/japan/chiikirenkei.html>

(ア) 創立者出身地との連携協定

2011年11月に本学創立者の一人である矢代操の出身地である福井県鯖江市と連携協定に関する協定を締結しました。2009年3月には岸本辰雄の出身地である鳥取県、2010年12月には宮城浩蔵の出身地である山形県天童市とも連携協定を締結しており、**すべての創立者の出身地と連携協定を締結**しました。

(イ) 創立130周年記念公開講座

創立130周年記念事業に合わせて創立者生誕地、全学部統一入学試験実施都市等で公開講座を実施しました。

(2) 図書館

図書館は、大学の教育・研究支援の中核機関であるとともに、生涯学習時代における社会貢献の拠点として活動を行っています。

※詳細は<http://www.lib.meiji.ac.jp/index.html>

ア 地域連携

千代田区民、杉並区民、世田谷区民、川崎市の在住者・在勤者等への図書館の開放など中央・和泉・生田図書館と各図書館の位置する地域等との連携を図りました。

イ 和泉キャンパス図書館の竣工・開館（P17参照）

ウ 震災者等支援

東日本大震災における被災大学の学生・教職員への図書館開放、東北大学及び東北学院大学の法科大学院修了生へのローライブラリーの開放を実施しました。

エ マンガ図書館

マンガ図書館は、マンガ、アニメ等の資料を収集し、これを公開することを目的として設置し、米沢嘉博記念図書館（東京都千代田区猿楽町）及び現代マンガ図書館（東京都新宿区早稲田鶴巻町）をもって構成されています。

(ア) 米沢嘉博記念図書館

本学校友の故米沢嘉博氏が収集した約14万冊のコレクションを中心に構成し、マンガ雑誌、単行本、同人誌、サブカルチャー(SF、アニメ、音楽、映画等)雑誌、関連書等を収蔵しています。

※詳細はhttp://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/collection.html

(イ) 現代マンガ図書館

マンガの雑誌、単行本、同人誌等約18万冊を収蔵しています。

※詳細は<http://sites.google.com/site/naikilib/>

オ 国際マンガ図書館(仮称)の設置検討

明治大学国際マンガ図書館(仮称)設置準備委員会等関係審議機関において設置にかかわる検討をしています。

(3) 博物館

博物館は、本学の教育・研究成果を社会に還元する学内共同利用機関として、学内外の諸機関等と連携した展覧会、公開講座等多彩な教育・普及活動を展開しています。

※詳細は<http://www.meiji.ac.jp/museum/index.html>

2011年度は、主な展覧会として特別展「漆器 JAPANWARE 文理融合型研究から見えてきた漆の過去・現在・未来」(2011年6月18日～7月31日)、「民衆の凶像展」(2011年8月21日～28日)、明治大学創立130周年記念展示「明治大学の国際交流130年」(2011年10月7日～12月18日)、明治大学博物館・南山大学人類学博物館合同特別展「人類史への挑戦—南山大学考古・民族コレクション」(2012年1月20日～3月10日)等を開催しました。

(4) 心理臨床センター

心理臨床センターは、臨床心理学的諸問題にかかわる相談・援助活動及び調査・研究を行うことにより、社会貢献を図るとともに、実習機関として臨床心理士の養成を行い、本学の教育・研究に資することを目的として設置されています。

一般の方の心の健康に関する悩みや相談を広く受ける機関として、また、学校教員の生徒への対応のほか、保育、家庭教育等についてのコンサルテーションも引き受けています。

※詳細は<http://www.meiji.ac.jp/ccp/index.html>

2011年度は、講演会として、文学部とともに、関西学院大学災害復興制度研究所との共催で、米国ボストン大学医学部精神科ビッセル・ヴァン・デア・コーク教授による「東日本大震災とトラウマ—その支援と回復に向けて」(2011年6月2日)を開催しました。

(5) 環境保全への取組みと環境教育

環境問題に対する社会的関心は、ますます高まり、大学に対しても環境保全への取組みや環境負荷を軽減するための責任ある行動が求められています。

本学においては駿河台キャンパスA地区(リバティタワー・研究棟・図書館)においてISO14001を認証取得してから2011年度で8年が経過し、節電、省エネ等の環境改善活動が定着しています。

2011年度においても継続的な環境展(ECO ACT MEIJI)の開催、学内エコツアー(リバティタワー内の環境配慮施設見学会)の実施等のほか、

2012年1月から「学部長会」においてタブレット型端末の利用による「**ペーパーレス会議システム**」を導入し、大幅な用紙の削減を図りました。

また、生田キャンパスの「省エネ・創エネ」の取組みが評価され、「かわさき環境ショーウィンドウ大賞」を受賞しました。

(6) 第14回ホームカミングデーの開催（2011年10月16日）

2011年度も大学と校友の連携強化及び校友同士の親睦を図るとともに、近隣の地域住民、協力協定を締結している地方自治体等との交流を深めることを目的として開催しました。記念講演、公開講座、物産展、福引等を実施し、2012年度も10月21日の開催を予定しています。

(7) 第5回お茶の水JAZZ祭の開催（2011年10月8日）等キャンパス所在地の自治体との連携

千代田区と連携し、音楽を通じた千代田区の町おこし事業の一つとして、本学校友の宇崎竜童氏及び阿木耀子氏夫妻等を中心に、本学学生等で組織される「町づくり道場」メンバーも運営に携わり、校友会、連合父母会等の後援により、お茶の水JAZZ祭を開催しました。当日は、1,000人を超えるジャズファンが参加し、大盛況のうちに終了しました。

その他、本学を含む杉並区内の6大学（本学のほか、女子美術大学・女子美術大学短期大学部、高千穂大学、東京女子大学、東京立正短期大学、立教女学院短期大学）が連携した地域づくり、川崎市多摩区及び同区内にキャンパスを持つ3大学による多摩区・3大学連携協議会（本学のほか、専修大学・日本女子大学）の活動等キャンパス所在地の自治体との連携も推進しました。

10 入学試験関連

(1) イベント関係

ア オープンキャンパスの開催

各キャンパスにおいて「明治大学オープンキャンパス」が全7回開催され、**過去最高の5万人を超える**受験生・生徒の皆さんが各種プログラムを通じて本学における学びや学生生活を模擬体験しました。

駿河台キャンパス（8月8日・9日・25日・26日）

※8月8日には12,000人を超える参加者を迎えました。

和泉キャンパス（9月17日）

生田キャンパス（8月3日・20日）

イ 進学相談会・明大フェスタ！の開催

全国各地で開催される「私立大学進学相談会」に参加するとともに、全国6都市（札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡）において、出張オープンキャンパス「明大フェスタ！」を開催し、入試説明会のほか、地元出身の現役明大生による相談等を行い、本学の魅力を伝えました。

(2) 2012年度入学試験志願状況

一般入学試験の志願者数は、一般選抜入学試験が58,485人、全学部統一入学試験が17,955人及び大学入試センター試験利用入学試験が36,880人の合計113,320人となり、**3年連続で志願者数全国1位**になるとともに、6年連続で10万人を超えました。

11 卒業・修了の状況

本学は、130年を超える歴史と伝統の中で、創立以来50万人を超える卒業生を輩出してきました。

2011年度は、各学部の卒業生6,738人、大学院の修了生は博士前期課程720人、博士後期課程32人、専門職学位課程404人、附属高等学校・中学校の卒業生428人となっています。

12 学生支援

(1) 奨学金の充実

専門職大学院及び法科大学院給費奨学金制度の拡充を目的として、ガバナンス研究科給費奨学金、グローバル・ビジネス研究科給費奨学金等に係る**給付対象者の範囲の拡大等**を行いました。また、貸与型奨学金制度から**給費型奨学金制度に移行**させるため、給費型奨学金の採用人数を増員しました。

(2) M-Naviプログラム (Meiji Navigation Program) の推進

M-Naviプログラムは、2010年度まで文部科学省の学生支援GPにも採択されており、参加・体験型のプログラムとして学生の社会人基礎力を養成することを目的としています。2011年度は、愛校心の涵養のための「東京六大学野球観戦」・「ラグビー明早戦応援」・「箱根駅伝応援」、社会に対する関心を深めるための「新聞社見学」、正しい飲酒の在り方について習得することを目的とした「おいしいお酒のたしなみ方」等のプログラムを実施しました。

(3) 菅平セミナーハウスの利用開始に向けて

長野県上田市国有地を2010年度末に取得し、**菅平セミナーハウス**として開設準備を進めてきました。ゲレンデも近く、研修室も充実した**本学最大規模**のセミナーハウスになります。2012年4月から利用を開始しました。

(4) ボランティアセンターの活動

3キャンパスに設置されているボランティアセンター（以下「VC」という。）は、本学の学生に対するボランティア活動の支援を全学的に推進することにより、学生の社会性及び自主性を涵養して、社会に有用な人材を育成することを目的としています。駿河台VCは防災をテーマとして千代田区と、和泉VCは福祉をテーマとして杉並区と、生田VCは環境をテーマとして川崎市多摩区と連携して活動を展開しています。2011年度は、ボランティア講座、東日本大震災の復興支援のための募金活動、エコキャップ（ペットボトルのキャップ）の回収等を行いました。

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/campus/volunteer/index.html>

(5) 学生相談室の活動

学生相談室への相談内容は、心理相談が約3分の2を占め、社会情勢の変化を反映して相談内容も多様化・複雑化しており、学生相談機能の拡充を図っています。

また、学生相談室は、「予防的カウンセリング」の観点から、緩やかな出会いの場を目指して、2011年度に主に次の講演会、各種体験プログラム等を実施しました。

ア 大学生の文章・答案・レポート対策講座

イ Yoga 体験、護身ビクス体験、ダンスセラピー体験

ウ ランチアワー～教員相談員と話そう！～

エ 対話力UP～アサーション・トレーニングとは～

アサーション・トレーニング：自分の意見や気持ちをその場にふさわしく表現できるようにするトレーニング

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/soudan/index.html>

(6) スポーツ表彰

2011年度に本学の名声を高めた功績を称えて、体育会優秀賞・敢闘賞として、個人70人及び16団体を表彰しました。

※試合結果等は <http://www.meiji.ac.jp/campus/circle/index.html>

(7) 就職キャリア支援

ア 就職キャリア支援センター

就職キャリア支援センターは、本学の学生に対する就職支援及びキャリア形成支援を推進することにより、学生の職業観及び職業に関する知識・技能を涵養して主体的に進路を選択できる能力の育成を図り、社会に有用な人材を輩出することを目的としています。

※詳細は <http://www.meiji.ac.jp/shushoku/index.html>

2011年度も就職支援活動として、就職・進路ガイダンス、工場・事業所見学会、就職活動体験報告会、各種業界研究会等を開催しました。また、スキルアップのためのエントリーシート対策講座、グループディスカッション講座、就職筆記試験対策テスト・就職適性検査、5大学合同グループディスカッション&グループ面接体験講座等も実施しました。

また、本学役員、大学役職者及び就職担当教員と企業の採用担当者との間で情報交換を行う「**企業と大学との就職懇談会**」（2011年10月26日）を開催し、387の企業と本学関係者約100人が出席し、講演会のほか、活発な情報交換が行われました。

さらに、就職キャリア支援センターは、外国人留学生の就職支援強化も積極的に推進しており、日本での就職を希望する外国人留学生向けに学内留学生OB・OG訪問会（2012年2月3日）及び外国人留学生対象学内セミナー（同年2月20日・21日）を開催しました。

イ キャリア教育の推進

学部間共通総合講座として、インターンシップ概論、スキルアップ講座、青年社長育成講座等を開講しました。また、文部科学省の「大学教育・学生支援推進事業」に採択された「共感力・自己表現力の養成によるクオリティ志向型人材育成」の取組みは、学生が共感力と自己表現力を備えることで就職先を知名度や規模ではなく、経営の質と商品・サービスの質で判断することを目指すもので、2011年度まで3年間、活動を展開してきました。

13 顕彰

(1) 名誉博士号の贈呈

明治大学名誉博士の学位は、「学問、芸術その他人類のために顕著な貢献をした者」に贈られるもので、2011年度は次のとおり贈呈しました。

ア **シモーヌ・ヴェイユ氏**（元フランス共和国保健相・元欧州議会議長）

イ **アネッテ・シャヴァーン氏**（ドイツ連邦共和国教育研究大臣）

(2) 特別功労賞の贈呈

明治大学特別功労賞は、「学生、教職員、校友その他本学が特に認めた者であって、学術、文化、スポーツその他の分野において顕著な功績を挙げ、本学の教育・研究の振興・発展に貢献したと認められる個人又は団体」に贈られるもので、2011年度は、本学校友の**佐々木則夫氏**（サッカー女子日本代表監督）に贈呈しました。

14 付属高等学校・中学校

(1) 創立100周年記念事業

明治高等学校・中学校は、2012年3月をもって創立100周年を迎えました。

そこで、校長を委員長とする「創立100周年記念事業委員会」を設置して、『**世界へ—世界へ飛び出し「己れ」を知ろう—**』をキーコンセプトとし、『**紫紺を胸に、羽ばたけ未来へ**』『**紫紺を胸に、羽ばたけ世界へ**』をキャッチコピーとして掲げ、2011年度は、次の記念事業を展開しました。

※詳細はhttp://www.meiji.ac.jp/ko_chu/meiji100/index.html

[教育振興プログラム]

ア 鶴澤総明教育振興・奨学金プログラム

創立100周年記念事業募金を原資とし、生徒を海外に派遣し、グローバル社会におけるリーダーを育成します。

イ 中国上海市にある建平中学（高等学校）との友好交流協定の締結

2012年度には、記念式典・祝賀会の開催及び創立100周年史の編纂・発行のほか、Englishスピーチコンテスト等生徒を対象とした記念教育事業及び所在地の調布市との産学共同事業等教育・文化・スポーツ事業の展開を予定しています。

記念事業ロゴマーク

「紫紺を胸に、羽ばたけ未来へ」 「紫紺を胸に、羽ばたけ世界へ」



(2) 高大連携の推進

明治大学各学部等の協力を得て、次の講座等を実施しました。

ア 資格取得講座（サマーセミナー）

長期休暇を利用した資格取得等を目的とした集中講座

イ プレカレッジプログラム（より早く大学で学べる「先取り」授業）

希望した生徒は、高校在学中に明治大学の授業を受講し、大学入学後に大学の単位としても認定されます。

ウ 高大連携講座

大学教員による週2時間の連続講座（準備教育）

以 上

参考資料

(1) 海外協定校一覧

	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	中国	中国人民大学	○	
2		延辺大学	○	
3		華東師範大学	○	
4		清華大学		
5		深圳大学	○	
6		厦門大学	○	
7		上海交通大学	○	
8		中央財經大学	○	
9		雲南農業大学		
10		遼寧大学	○	
11		雲南民族大学		
12		内蒙古工業大学	○	
13		大連外国語学院	○	
14		雲南大学	○	
15		北京大学	○	
16		蘇州大学	○	
17		南京大学	○	
18		中国社会科学院		
19		東華大学		
20		上海對外貿易学院		
21		南京財經大学		
22		香港中文大学	○	
23	韓国	梨花女子大学	○	
24		高麗大学	○	
25		国立忠北大学	○	
26		同徳女子大学	○	
27		国立慶北大学		
28		仁荷大学	○	
29		大邱大学	○	
30		淑明女子大学	○	
31		慶尚大学	○	
32		西江大学	○	
33		嶺南大学	○	
34		中央大学		
35		大田大学	○	
36		慶熙大学	○	
37	台湾	国立台湾大学	○	
38		中国文化大学	○	
39		虎尾科技大学	○	
40		国立台北大学	○	
41		国立嘉義大学	○	
42		中原大学		
43		国立屏東科技大学		
44		南台科技大学		
45	国立高雄応用科技大学			
46	ベトナム	ハノイ大学		
47		ハノイ貿易大学	○	
48		ハノイ大学	○	
49	ラオス	ラオス国立大学		
50	マレーシア	マレーシア工科大学	○	
51		マレーシア科学大学	○	
52		マラヤ大学	○	
53		マレーシア・サラワク大学	○	
54		ペトロナス工科大学	○	
55	シンガポール	シンガポール経営大学	○	
56	タイ	キングモンクット工科大学ラカバン校	○	
57	インドネシア	シーナカリンウィロート大学	○	学生交流は政治経済学部のみ実施
58	インドネシア	バンドン工科大学	○	
59	フィリピン	フィリピン大学ディリマン校		
60		アテネオ・デ・マニラ大学		
61	インド	インド科学院大学	○	
62		インド統計大学		
63	モンゴル	モンゴル国立大学		
64	豪州	西シドニー大学	○	
65		サンシャインコースト大学	○	
66		ニューサウスウェールズ大学	○	
67		クイーンズランド工科大学		
68	サウジアラビア	アブドゥルアジズ国王大学		
69	トルコ	中東工科大学	○	
70		ボアジチ大学(ボスボラス大学)		

71	南アフリカ	フォートヘア大学	○	
72		リンボポ大学	○	
73	タンザニア	ダルエスサラーム大学		
74		シェフィールド大学	○	
75		ケンブリッジ大学ヒューズ・ホール・カレッジ		
76	英国	ヨーク・セント・ジョン大学		
77		ロンドン大学クィーン・メアリー・カレッジ		
78		マンチェスター大学 人文科学部	○	
79		バーミンガム大学		
80		フリードリヒ・シラー・イエーナ大学	○	
81	ドイツ	ツェッペリン大学		
82		ジーゲン大学	○	
83		パッサウ大学		
84		ランス大学	○	
85		パリ第1大学(パンテオン・ソルボンヌ)	○	
86		パリ第9大学(ドフィーズ)	○	
87		トゥールーズ第1社会科学大学	○	
88		フランス国立東洋言語文化研究学院	○	
89	フランス	リヨン第3大学	○	
90		ヴェルサイユ大学	○	
91		パリ第3大学(ソルボンヌ・ヌーベル)	○	
92		プロヴァンス大学	○	
93		パリ・デイドロ大学(パリ第7大学)	○	
94		モダール・インターナショナル学院		
95	オーストリア	ウィーン大学	○	
96	スウェーデン	リンシェーピング大学	○	
97	スイス	チューリッヒ大学	○	
98		シエナ大学	○	
99	イタリア	ヴェネツィア大学	○	
100		ミラノ大学	○	
101		フィレンツェ大学		
102	ハンガリー	エトヴェシュ・ロラード大学	○	
103	ポーランド	ウッジ大学	○	
104		ポズナン経済大学		
105		ブレハーフ経済大学	○	
106	ロシア	クラスノヤルスク教育大学	○	
107		国立経営大学	○	
108		モスクワ国立大学	○	
109	ルーマニア	ブカレスト大学	○	
110	ブルガリア	ソフィア大学	○	
111	セルビア	ベオグラード大学	○	
112	ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエボ大学		
113		バニャルカ大学		
114		アリカンテ大学		
115	スペイン	ロビーラ・イ・ビルジリ大学		
116		バレンシア大学		
117	ギリシャ	クレタ大学		
118		オレゴン大学	○	
119		アイオワ大学	○	
120		サザンイリノイ大学カーボンデール校	○	
121		SUNYニューパルツ校	○	
122		アラバマ大学	○	
123		ミズーリ州立大学	○	
124	米国	カンザス大学		
125		ノースイースタン大学	○	
126		南カリフォルニア大学		
127		メンフィス大学	○	
128		アイオワ州立大学 農学・生命科学部		
129		ハワイ大学マノア校熱帯農業人的資源学部(CTAHR)		
130		ヨーク大学	○	
131		アルバータ大学	○	
132		ヴィクトリア大学	○	学生交流は経営学部のみ実施
133		モントリオール大学	○	
134	カナダ	ダルハウジー大学	○	
135		マクマスター大学		
136		ニューコン・カレッジ		
137		ラヴァル大学		
138		サスカチュワン大学 農学・生物資源学部		
139	メキシコ	メキシコ国立自治大学	○	
140	ブラジル	FAAP - アルマンド・アルバレス・ペンチアード大学		
141		サンパウロ大学		
合 計				141大学

学部間等協定校				
	国名	協定大学名	学生交流	協定学部等
1	フランス	レンヌ商科大学	○	商学部
2	ドイツ	ブレーメン経済工科大学	○	商学部
3	イギリス	カーディフ大学 カーディフ・ビジネス・スクール	○	商学部
4	フランス	パリ商業高等大学マネジメント学部	○	商学部
5	韓国	延世大学校政経大学	○	政治経済学部
6	米国	カリフォルニア大学バークレー校		政治経済学部
7	タイ	シーナカリンウィロート大学経済公共政策学部	○	政治経済学部
8	タイ	シーナカリンウィロート大学社会科学部	○	政治経済学部
9	中国	北京師範大学歴史学院	○	文学部
10	ドイツ	ビーレフェルト大学言語学・文学部	○	文学部
11	ドイツ	バンベルク大学人文学部	○	文学部
12	タイ	チュラロンコーン大学	○	理工学部
13	フランス	パリ・ラヴィレット建築大学	○	理工学部
14	南アフリカ	ケープタウン大学		理工学部
15	台湾	国立台湾大学生物資源・農学部農業経済学科	○	農学部
16	タイ	キングモンクット工科大学トンプリ校 生物資源工学部		農学部
17	タイ	カセサート大学 カンベンセン校農学部		農学部
18	米国	アイオワ州立大学農学・生命科学部		農学部
19	カナダ	サスカチュワン大学農学・生物資源学部		農学部
20	米国	ハワイ大学マノア校熱帯農学・人的資源学部		農学部
21	カナダ	ヴィクトリア大学ビジネス学部	○	経営学部
22	オーストラリア	南オーストラリア大学ビジネス学部	○	経営学部
23	フランス	ESCEM ビジネスマネジメントスクール	○	経営学部
24	韓国	ソウル国立大学経営学部	○	経営学部
25	フランス	IPAG ビジネススクール	○	経営学部
26	中国	中山大學国際商学院	○	経営学部
27	中国	對外経済貿易大学国際商学院	○	経営学部
28	中国	香港城市大学商学院	○	経営学部
29	スペイン	IE University	○	経営学部
30	ロシア	国立経営大学マーケティング学部	○	経営学部
31	ロシア	プレハーノフ経済大学国際経営学部	○	経営学部
32	韓国	全北大学校人文大学		情報コミュニケーション学部
33	タイ	キングモンクット工科大学ラカバン校産業教育学部	○	情報コミュニケーション学部
34	タイ	シーナカリンウィロート大学人文学部	○	情報コミュニケーション学部
35	米国	アラバマ大学	○	国際日本学部
36	米国	ニューヨーク州立大学ニューパルツ校	○	国際日本学部
37	米国	オレゴン大学	○	国際日本学部
38	米国	インディアナ大学・パーディー大学インディアナポリス校	○	国際日本学部
39	米国	フロリダ州立大学	○	国際日本学部
40	米国	ニューヨーク市立大学スタテンアイランド校	○	国際日本学部
41	イギリス	オックスフォード大学ハートフォードカレッジ	○	国際日本学部
42	中国	北京大学		国際日本学部
43	韓国	ソウル大学経営専門大学院		経営学研究科
44	マレーシア	マレーシア工科大学	○	経営学研究科
45	韓国	ウソン大学ソルブリッジ国際経営大学院		経営学研究科
46	韓国	ソウル国立大学経営大学院		経営学研究科
47	韓国	韓国刑事政策研究院		法学研究科
48	中国	延辺大学外国語学院日本語学部	○	教養デザイン研究科
49	中国	遼寧大学	○	教養デザイン研究科
50	中国	大連外国語学院日本語学院	○	教養デザイン研究科
51	台湾	中国文化大学外国語文學院日本語学科	○	教養デザイン研究科
合 計				51大学

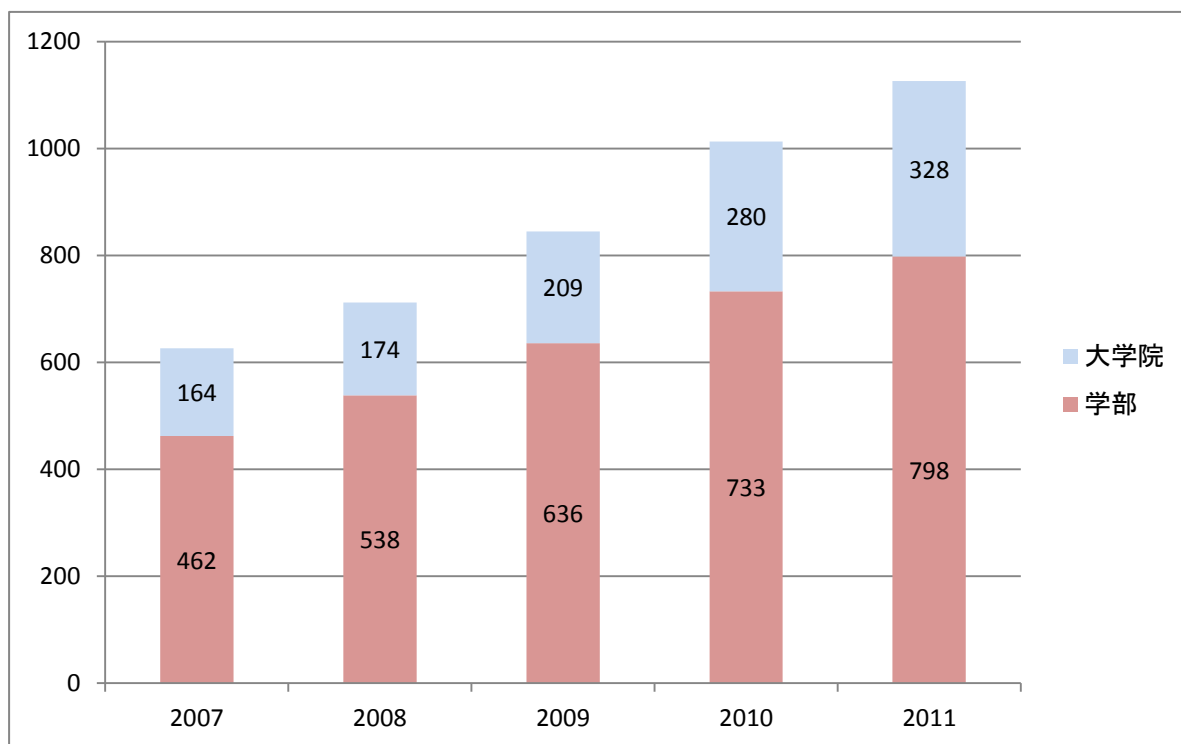
その他部局間(研究所間)協定校				
	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	台湾	台湾国立交通大学数学建模科学計算研究所 (IMMSC)		先端数理科学インスティテュート
2	ベトナム	ベトナム・ハノイ数学研究所 (IMVAST)		先端数理科学インスティテュート
3	英国	オックスフォード大学数理生物学センター (CMB)		先端数理科学インスティテュート
4		フランス国立科学研究センター (CNRS)		先端数理科学インスティテュート
5	フランス	フランス国立社会科学高等研究院社会数理解析センター (CAMS)		先端数理科学インスティテュート
6	イタリア	イタリアCNR応用数学研究所 (IAC)		先端数理科学インスティテュート
7	スペイン	マドリード・コンプルテンセ大学学際数学研究所 (IMI)		先端数理科学インスティテュート
8	ロシア	ロシア科学アカデミー極東支部極東地質学研究所		黒曜石研究センター
合 計				8機関

コンソーシアム形式の協定		学生交流	参加大学		
1	ルノー財団プログラム(パリ国際MBA, パリテック)	○	日本側	13	仏側 5
2	日加戦略的留学生交流促進プログラム	○	日本側	15	カナダ側 14
合 計			2コンソーシアム		

○=学生交流を実施している協定校

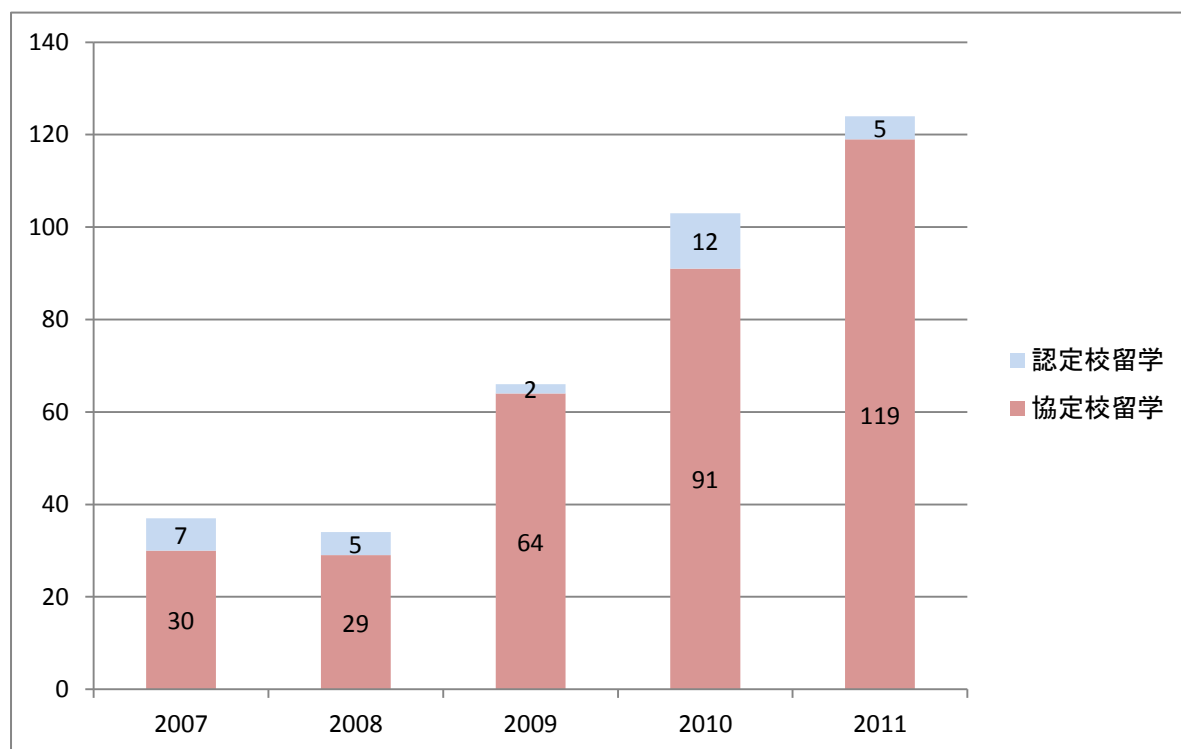
(2) 外国人留学生受入数及び海外派遣留学生数

①外国人留学生受入数



各年度5月1日現在

②海外派遣留学生数



各年度3月31日現在

(3) 2012年度 一般入試結果

①一般選抜入学試験結果

学部・学科(専攻)	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			満点	合格最低点	合格最低得点率	競争率 受験者/合格者		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女						
法学部	法学学科	435	4,736	3,473	1,263	4,095	2,985	1,110	1,182	895	287	350	208	59.4	3.5	
商学部	商学科	450	8,193	6,097	2,096	7,254	5,394	1,860	1,083	857	226	350	238	68.0	6.7	
政治経済学部	政治学科	118	1,899	1,385	514	1,746	1,265	481	437	293	144	350	239	68.3	4.0	
	経済学科	310	4,685	3,953	732	4,405	3,717	688	944	806	138	350	237	67.7	4.7	
	地域行政学科	78	933	709	224	886	673	213	165	128	37	350	232	66.3	5.4	
	計	506	7,517	6,047	1,470	7,037	5,655	1,382	1,546	1,227	319				4.6	
文学部	文学科	日本文学専攻	59	1,163	532	631	1,061	472	589	147	58	89	300	220	73.3	7.2
		英米文学専攻	58	909	397	512	830	360	470	160	62	98	300	216	72.0	5.2
		ドイツ文学専攻	17	333	127	206	309	118	191	40	14	26	300	210	70.0	7.7
		フランス文学専攻	17	254	88	166	231	80	151	41	17	24	300	209	69.7	5.6
		演劇学専攻	22	342	122	220	313	111	202	50	15	35	300	213	71.0	6.3
		文芸メディア専攻	33	907	391	516	821	356	465	107	49	58	300	223	74.3	7.7
	史学地理学科	日本史学専攻	40	877	582	295	803	542	261	101	67	34	300	221	73.7	8.0
		アジア史専攻	17	277	143	134	260	133	127	44	22	22	300	216	72.0	5.9
		西洋史学専攻	26	575	302	273	516	272	244	76	38	38	300	224	74.7	6.8
		考古学専攻	19	225	118	107	200	104	96	43	22	21	300	208	69.3	4.7
		地理学専攻	24	263	197	66	247	184	63	49	34	15	300	205	68.3	5.0
	心理社会学科	臨床心理学専攻	22	603	225	378	557	210	347	82	23	39	300	223	74.3	9.0
		現代社会学専攻	22	558	271	287	501	244	257	46	23	23	300	225	75.0	10.9
	計	376	7,286	3,495	3,791	6,649	3,186	3,463	966	444	522				6.9	
理工学部	電気電子生命学科	115	1,320	1,203	117	1,259	1,147	112	426	391	35	360	233	64.7	3.0	
	機械工学科	70	1,491	1,424	67	1,427	1,365	62	398	371	27	360	252	70.0	3.6	
	機械情報工学科	66	720	681	39	693	655	38	215	202	13	360	235	65.3	3.2	
	建築学科	80	1,436	1,112	324	1,375	1,063	312	322	241	81	360	250	69.4	4.3	
	応用化学科	55	1,782	1,352	430	1,714	1,300	414	399	321	78	360	254	70.6	4.3	
	情報科学科	60	1,218	1,090	128	1,177	1,056	121	228	203	25	360	250	69.4	5.2	
	数学科	30	594	536	58	580	525	55	123	109	14	360	250	69.4	4.7	
	物理学科	32	859	783	76	833	759	74	236	218	18	360	255	70.8	3.5	
計	508	9,420	8,181	1,239	9,058	7,870	1,188	2,347	2,056	291				3.9		
農学部	農学科	77	1,574	1,028	546	1,372	890	482	259	167	92	300	213	71.0	5.3	
	農芸化学科	77	1,061	485	576	927	432	495	198	81	117	300	214	71.3	4.7	
	生命科学科	82	1,835	1,072	763	1,626	956	670	287	148	139	300	220	73.3	5.7	
	食料環境政策学科	70	1,037	661	376	950	605	345	155	95	60	300	217	72.3	6.1	
計	306	5,507	3,246	2,261	4,875	2,883	1,992	899	491	408				5.4		
経営学部	経営学科	200	5,245	3,966	1,279	5,029	3,803	1,226	868	662	206	350	215	61.4	5.8	
	会計学科	85	898	649	249	861	619	242	186	134	52	350	210	60.0	4.6	
	公共経営学科	45	547	391	156	537	384	153	91	64	27	350	210	60.0	5.9	
	計	330	6,690	5,006	1,684	6,427	4,806	1,621	1,145	860	285				5.6	
情報コミュニケーション学部	情報コミュニケーション学科	290	5,537	3,272	2,265	5,386	3,183	2,203	858	490	368	300	179	59.7	6.3	
国際日本学部	国際日本学科	160	3,599	1,273	2,326	3,496	1,226	2,270	717	220	497	450	331	73.6	4.9	
一般選抜入学試験 合計		3,361	58,485	40,090	18,395	54,277	37,188	17,089	10,743	7,540	3,203				5.1	

②大学入試センター試験利用入学試験結果

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			競争率 受験者/合格者			
		計	男	女	計	男	女	計	男	女				
法学部	3科目方式	法学学科	50	2,177	1,502	675	2,170	1,496	674	343	215	128	6.3	
		法学学科	40	921	662	259	917	658	259	332	245	87	2.8	
		法学学科	30	951	724	227	950	723	227	419	333	86	2.3	
	計	120	4,049	2,888	1,161	4,037	2,877	1,160	1,094	793	301	3.7		
商学部	3科目方式	商学科	50	3,321	2,338	983	3,311	2,330	981	427	286	141	7.8	
		商学科	40	1,343	997	346	1,341	995	346	376	278	98	3.6	
		商学科	15	838	614	224	835	612	223	302	213	89	2.8	
計	105	5,502	3,949	1,553	5,487	3,937	1,550	1,105	777	328	5.0			
政治経済学部	3科目方式	政治学科	15	693	494	199	692	493	199	93	57	36	7.4	
		経済学科	25	1,167	943	224	1,165	941	224	130	101	29	9.0	
		政治学科	15	740	550	190	735	547	188	405	299	106	1.8	
	7科目方式	経済学科	50	2,643	2,201	442	2,621	2,187	434	1,171	977	194	2.2	
		地域行政学科	15	339	251	88	333	248	85	113	80	33	2.9	
計	120	5,582	4,439	1,143	5,546	4,416	1,130	1,812	1,514	398	2.9			
文学部	3教科方式	文学科	日本文学	6	583	257	326	580	254	326	77	37	40	7.5
			英米文学	6	532	237	295	529	235	294	75	28	47	7.1
			ドイツ文学	2	99	44	55	98	44	54	13	6	7	7.5
			フランス文学	2	111	35	76	111	35	76	15	6	9	7.4
			演劇学	3	228	82	146	225	82	143	16	5	11	14.1
		文芸メディア	4	497	201	296	496	200	296	52	22	30	9.5	
		史学地理学科	日本史学	5	404	250	154	403	249	154	53	24	29	7.6
			アジア史	3	144	68	76	144	68	76	21	10	11	6.9
			西洋史学	4	290	150	140	289	149	140	41	18	23	7.0
			考古学	3	118	66	52	117	66	51	16	9	7	7.3
地理学	4		114	86	28	113	86	27	17	12	5	6.6		

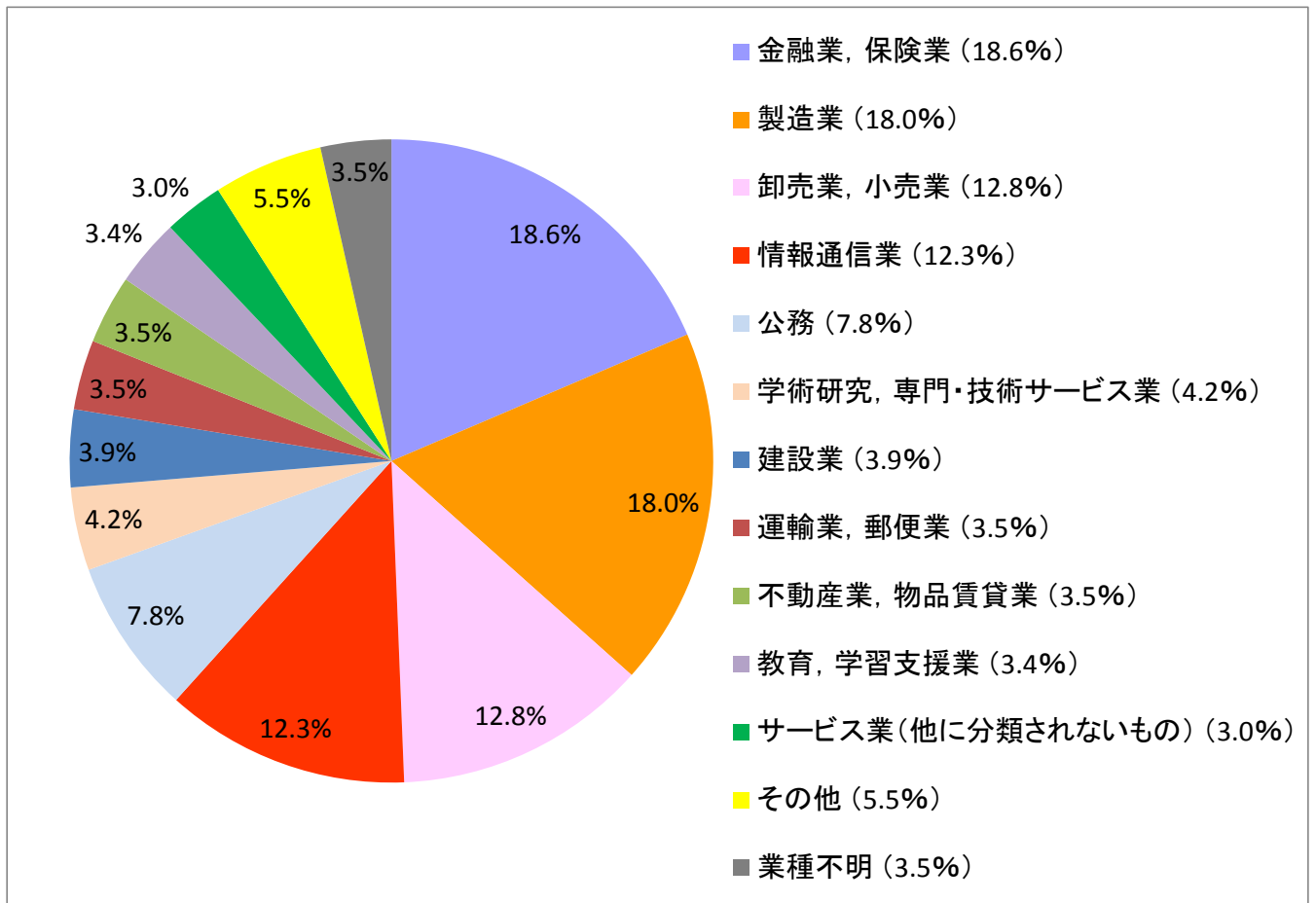
大学入試センター試験利用入試	前期日程	学部・方式・学科(専攻)				募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			競争率 受験者/合格者
		3教科方式	心理社会学科	臨床心理学 現代社会学	計		男	女	計	男	女	計	男	女		
															5教科方式	
					4	385	136	249	385	136	249	34	12	22	11.3	
					4	334	170	164	329	168	161	40	14	26	8.2	
					3	107	57	50	103	55	48	37	20	17	2.8	
					3	84	37	47	83	37	46	26	15	11	3.2	
					2	25	10	15	25	10	15	9	4	5	2.8	
					2	24	12	12	22	10	12	8	4	4	2.8	
					2	28	8	20	25	6	19	10	2	8	2.5	
					2	78	37	41	75	37	38	22	12	10	3.4	
					3	106	86	20	105	85	20	36	29	7	2.9	
					2	47	33	14	47	33	14	15	12	3	3.1	
					2	67	44	23	66	43	23	23	17	6	2.9	
					2	37	22	15	35	21	14	13	5	8	2.7	
					2	52	40	12	51	39	12	12	7	5	4.3	
					2	98	38	60	92	35	57	19	7	12	4.8	
					2	95	51	44	93	50	43	23	11	12	4.0	
					計	79	4,687	2,257	2,430	4,641	2,233	2,408	723	348	375	6.4
					10	930	847	83	928	845	83	240	210	30	3.9	
					5	859	815	44	858	814	44	220	207	13	3.9	
					9	681	632	49	680	631	49	159	145	14	4.3	
					7	877	764	113	874	761	113	203	175	28	4.3	
					8	430	363	67	429	362	67	137	111	26	3.1	
					7	533	491	42	532	490	42	127	116	11	4.2	
					12	917	669	248	916	668	248	210	134	76	4.4	
					7	1,239	921	318	1,236	918	318	265	202	63	4.7	
					4	469	407	62	469	407	62	139	126	13	3.4	
					7	642	563	79	642	563	79	143	125	18	4.5	
					計	76	7,577	6,472	1,105	7,564	6,459	1,105	1,843	1,551	292	4.1
					15	824	509	315	815	503	312	231	134	97	3.5	
					15	533	204	329	532	204	328	179	56	123	3.0	
					15	1,180	656	524	1,174	650	524	256	145	111	4.6	
					15	543	295	248	541	293	248	146	72	74	3.7	
					計	60	3,080	1,664	1,416	3,062	1,650	1,412	812	407	405	3.8
					20	1,106	805	301	928	680	248	201	146	55	4.6	
					10	257	166	91	232	149	83	57	33	24	4.1	
					5	117	71	46	103	65	38	18	13	5	5.7	
					計	35	1,480	1,042	438	1,263	894	369	276	192	84	4.6
					30	2,026	1,167	859	2,012	1,157	855	304	196	108	6.6	
					15	1,419	478	941	1,414	477	937	223	86	137	6.3	
					5	349	135	214	347	134	213	70	24	46	5.0	
					計	20	1,768	613	1,155	1,761	611	1,150	293	110	183	6.0
					645	35,751	24,491	11,260	35,373	24,234	11,139	8,362	5,888	2,474	4.2	
					18	264	177	87	251	169	82	81	57	24	3.1	
					5	28	18	10	25	16	9	10	6	4	2.5	
					10	87	61	26	80	57	23	24	18	6	3.3	
					5	30	23	7	27	21	6	11	10	1	2.5	
					計	20	145	102	43	132	94	38	45	34	11	2.9
					1	20	10	10	20	10	10	3	1	2	6.7	
					1	34	13	21	34	13	21	8	5	3	4.3	
					1	14	2	12	14	2	12	4	1	3	3.5	
					1	16	5	11	16	5	11	4	1	3	4.0	
					1	12	2	10	12	2	10	1	0	1	12.0	
					1	19	10	9	19	10	9	3	1	2	6.3	
					1	27	18	9	26	17	9	4	2	2	6.5	
					1	17	11	6	17	11	6	3	1	2	5.7	
					1	18	12	6	18	12	6	5	2	3	3.6	
					1	20	15	5	20	15	5	2	2	0	10.0	
					1	16	10	6	16	10	6	2	0	2	8.0	
					1	33	14	19	33	14	19	6	0	6	5.5	
					1	34	13	21	33	12	21	5	3	2	6.6	
					計	13	280	135	145	278	133	145	50	19	31	5.6
					4	64	53	11	64	53	11	24	20	4	2.7	
					4	71	65	6	71	65	6	24	22	2	3.0	
					3	60	41	19	60	41	19	14	10	4	4.3	
					4	102	71	31	102	71	31	17	12	5	6.0	
					2	49	37	12	49	37	12	15	11	4	3.3	
					2	44	38	6	44	38	6	18	13	5	2.4	
					2	50	41	9	50	41	9	12	9	3	4.2	
					計	21	440	346	94	440	346	94	124	97	27	3.5
					72	1,129	760	369	1,101	742	359	300	207	93	3.7	
					717	36,880	25,251	11,629	36,474	24,976	11,498	8,662	6,095	2,567	4.2	

③全学部統一入学試験結果

学部・学科(専攻)		募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			満点	合格最低点	合格最低得点率	競争率 受験者/合格者		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女						
全 学 部 統 一 入 学 試 験	法学部	法律学科	100	2,079	1,480	599	2,002	1,424	578	308	217	91	300	224	74.7	6.5	
	商学部	商学科	60	2,313	1,618	695	2,233	1,559	674	241	179	62	450	330	73.3	9.3	
	政治経済学部	政治学科	15	204	154	50	128	101	27	40	30	10	450	311	69.1	3.2	
		経済学科	30	802	661	141	621	517	104	155	129	26	450	311	69.1	4.0	
		地域行政学科	10	155	114	41	95	72	23	13	9	4	450	301	66.9	7.3	
		計	55	1,161	929	232	844	690	154	208	168	40				4.1	
	文学部	文学科	日本文学専攻	12	388	164	224	379	161	218	36	22	14	300	218	72.7	10.5
			英米文学専攻	12	407	190	217	397	186	211	52	29	23	300	221	73.7	7.6
			ドイツ文学専攻	2	159	75	84	156	73	83	20	14	6	300	218	72.7	7.8
			フランス文学専攻	3	220	74	146	215	73	142	23	6	17	300	216	72.0	9.3
			演劇学専攻	4	211	80	131	205	77	128	15	4	11	300	220	73.3	13.7
			文芸メディア専攻	5	331	149	182	318	141	177	26	16	10	300	224	74.7	12.2
		史学地理学科	日本史学専攻	9	278	183	95	274	181	93	28	15	13	300	217	72.3	9.8
			アジア史専攻	3	143	83	60	142	83	59	16	11	5	300	216	72.0	8.9
			西洋史学専攻	6	169	103	66	165	99	66	24	18	6	300	223	74.3	6.9
			考古学専攻	3	113	65	48	111	63	48	12	8	4	300	219	73.0	9.3
		心理社会学科	地理学専攻	4	123	94	29	119	91	28	17	16	1	300	212	70.7	7.0
			臨床心理学専攻	8	316	107	209	307	101	206	22	8	14	300	219	73.0	14.0
			現代社会学専攻	8	336	176	160	326	171	155	30	16	14	300	224	74.7	10.9
	計	79	3,194	1,543	1,651	3,114	1,500	1,614	321	183	138				9.7		
	理工学部	電気電子生命学科	22	354	316	38	340	303	37	94	88	6	400	260	65.0	3.6	
		機械工学科	12	368	351	17	347	330	17	91	84	7	400	278	69.5	3.8	
		機械情報工学科	12	262	244	18	241	223	18	59	53	6	400	268	67.0	4.1	
		建築学科	14	326	244	82	297	221	76	67	50	17	400	275	68.8	4.4	
		応用化学科	11	413	291	122	384	274	110	93	67	26	400	277	69.3	4.1	
		情報科学科	8	279	239	40	263	226	37	54	50	4	400	269	67.3	4.9	
数学科		5	206	178	28	199	172	27	49	44	5	400	270	67.5	4.1		
物理学科		5	170	155	15	161	147	14	51	48	3	400	282	70.5	3.2		
計	89	2,378	2,018	360	2,232	1,896	336	558	484	74				4.0			
農学部	農学科	15	557	362	195	533	343	190	72	49	23	300	210	70.0	7.4		
	農芸化学科	15	410	187	223	401	184	217	59	26	33	300	217	72.3	6.8		
	生命科学科	10	579	326	253	552	309	243	58	33	25	300	221	73.7	9.5		
	食料環境政策学科	10	439	270	169	420	254	166	44	30	14	300	216	72.0	9.5		
計	50	1,985	1,145	840	1,906	1,090	816	233	138	95				8.2			
経営学部	経営学科	20	1,500	1,092	408	1,443	1,049	394	183	138	45	350	250	71.4	7.9		
	会計学科	5	327	219	108	321	215	106	59	45	14	350	245	70.0	5.4		
	公共経営学科	5	222	154	68	217	149	68	31	27	4	350	245	70.0	7.0		
	計	30	2,049	1,465	584	1,981	1,413	568	273	210	63				7.3		
情報コミュニケーション学部	情報コミュニケーション学科	20	1,625	874	751	1,573	839	734	106	63	43	350	255	72.9	14.8		
国際日本学部	国際日本学科	20	1,171	426	745	1,136	412	724	83	32	51	400	293	73.3	13.7		
全学部統一入学試験 合計		503	17,955	11,498	6,457	17,021	10,823	6,198	2,331	1,674	657				7.3		
総 計		4,581	113,320	76,839	36,481	107,772	72,987	34,785	21,736	15,309	6,427				5.0		

(4) 業種別就職状況及び主な就職先

①業種別就職状況



②主な就職先

順位	内定先名称	人数
1	東京特別区	44
2	(株)みずほフィナンシャルグループ	43
3	(株)三菱東京UFJ銀行	39
4	りそなグループ	31
4	国家公務員 Ⅱ種	31
6	警視庁	26
7	東日本旅客鉄道(株)	25
8	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	21
9	ソフトバンクグループ	20
9	野村證券(株)	20
11	三菱電機(株)	18
12	(株)千葉銀行	16
12	明治安田生命保険(相)	16
14	(株)日立ソリューションズ	15
14	ヤフー(株)	15
14	中央労働金庫	15
14	楽天(株)	15
18	キャノン(株)	14
18	日本電気(株)	14

順位	内定先名称	人数
18	(株)大和証券グループ本社	14
18	SMBC日興証券(株)	14
18	第一生命保険(株)	14
23	(株)日立製作所	13
23	全日本空輸(株)	13
23	(株)三井住友銀行	13
23	三井住友海上火災保険(株)	13
23	埼玉県教育委員会	13
23	郵便局(株)	13
23	東京都庁	13
30	(株)LIXIL	12
30	日野自動車(株)	12
30	KDDI(株)	12
30	(株)ゆうちょ銀行	12
30	(株)京葉銀行	12
30	(株)群馬銀行	12
30	(株)静岡銀行	12
30	日本生命保険(相)	12
30	東京都教育委員会	12

2012年3月31日現在